

事務事業名		行政評価推進事業			<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登録事業			
政策体系	政策名	08 自立した行政経営の確立			事業期間		予算科目			
	施策名	35 効率的で質の高い行政運営の推進								
	基本事業名	01 成果重視の行政運営の推進			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 H15 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01	02	01	01
根拠法令										
所属	部課名	企画政策部 企画調整課								
	係名	政策調整係	電話	0192-27-3111	内線	229				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							全体計画(※期間限定複数年度のみ)			
・市総合計画で体系付けられた施策、基本事業及びこれらを実現するための事務事業についてそれぞれ評価を行い、その結果を次の計画や予算執行に生かしていく一連の仕組みを構築している。 ただし、大震災への対応を優先するため、平成22年度実績に対する23年度の評価から、当面、事務事業評価に止めることとした。 なお、事業費は導入支援業務に係る専門業者への委託料が主である。							総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	
								財源内訳	都道府県支出金	
									地方債	
									その他	
									一般財源	
									事業費計(A)	0
人件費	正規職員従事人数									
	延べ業務時間									
	人件費計(B)	0								
トータルコスト(A)+(B)		0								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)
前年度実績(前年度に行った主な活動)
・事務事業評価の実施及び公表
・市民意識調査の実施

今年度計画(今年度に計画している主な活動)
※前年度と同様
・行政経営推進会議(次年度予算の重点化)
・初心者対象研修

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等
・市職員

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)
・事務事業や施策について振り返る
・評価結果を事務事業の改革・改善や予算要求などに活かす
・市民と行政情報を共有する

④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)
・市民の多様なニーズに的確に対応し、成果を出す。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 行政経営推進会議開催回数	回
イ 研修会延べ開催回数	回
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 職員数(4月1日現在) ※H23は震災の影響から7月1日現在	人
キ	
ク	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 公表した事務事業数	事業
シ	
ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円		630	630	630	630	630	630
		事業費計(A)	千円	0	630	630	630	630	630	630
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
		人件費計(B)	千円	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
		トータルコスト(A)+(B)	千円	4,000	4,630	4,630	4,630	4,630	4,630	4,630
⑤活動指標	ア	回	1	1	1	1	1	1	1	
	イ	回	2	2	2	2	2	2	2	
	ウ									
⑥対象指標	カ	人	397	-	-	-	-	-	-	
	キ									
	ク									
⑦成果指標	サ	事業	733	733	733	733	733	733	733	
	シ									
	ス									

事務事業ID	0325	事務事業名	行政評価推進事業
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 全国的に行政評価導入の動きが活発になる中で、平成15年度、庁内に導入検討委員会を設置して検討を始め、平成16年2月に「大船渡市行政評価システム導入マスタープラン」を策定した。県の合併市町村自立支援交付金を活用し外部の専門家の支援を得ながら計画的な導入を進め、平成21年度までに公表を含め、基本的な仕組みを構築した。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 平成22年10月1日現在、市区では78.1%が導入済み、9.7%が試行中となっている。(平成23年3月16日総務省公表) ※H24公表なし 震災を契機に復旧・復興業務の拡大に伴い、評価手法の簡素化、専門業者への委託内容の見直しを行った。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 平成22年度に、初心者を対象に行った職員研修会でのアンケートでは、全員が「行政評価は仕事を進める上で必要なことだと思う」と答えている。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 職員が行政評価を正しく理解し、不断の改革改善を行い、評価結果を市総合計画や予算編成に生かしていくことは、市民の多様なニーズに的確に対応し成果を出すことに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 行政評価は、市の施策や事務事業を自ら振り返り、改革改善を図るという行政活動そのものである。また、行政評価の推進は行政改革の柱として進めており、限られた財源の有効活用を図り、市民への説明責任を果たしていく上でとても重要である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 評価結果をよりわかりやすく公表することにより、「市民との行政情報の共有化を図っていく」という、意図の拡充が可能である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 行政評価に関する職員の理解を深め、意識改革を図ることにより、意欲的に改革改善案を示し実現していくことが成果向上につながる。改革改善案を次の計画や予算に反映させ、実現していくための体制づくりが必要がある。また、平成22年度に実施した職員アンケートでは、評価が定着するか不安という意見が見受けられたので、今後も研修会を開催し、目的や必要性を説明する必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 評価活動を実施しなければ成果の把握や具体的な改革改善を行う仕組みがなくなり、施策の展開や事務事業の実施に支障を来し、効率的な行政運営が図られなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】 (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 評価結果を次の企画や実施に反映させる一連のサイクルを、システムとして実施していく手段は他にない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費は専門コンサルタントの支援費用が概ねであり、職員の行政評価に関する理解が浸透すれば事業費を削減することができる。初任者に対しては担当職員が講師を務め事業費を縮小することができる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 評価手法の簡素化、講師派遣回数の見直し、さらには研修会を通じた職員個々の評価能力向上などにより、行政評価に係る人件費の削減を図ることができる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 不断の改革・改善を行い、評価結果を次の計画、予算執行に生かしていくことは、すべての市民に対して受益をもたらすものであり、特定の受益者はいない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>職員研修の充実により、行政評価に関する職員の理解を深めるとともに、意識改革を図ることにより、意欲的に改革改善案を示し実現していく必要がある。</p> <p>今後、通常業務に加え、大震災からの復旧・復興業務に追われることを考慮し、評価手法の簡素化、専門業者への委託内容の見直し、さらに、研修会を通じた職員個々の評価能力の向上などにより、行政評価に係る人件費を含めた事業費の削減を図る必要がある。</p>									
① 目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>職員研修(初心者、管理職、行政評価推進リーダー)の充実を図る。 従来の事務事業評価(1次・2次)→基本事業評価→施策評価→行政経営会議(施策の優先度評価、次年度予算の重点化)という流れから、復旧・復興業務に伴う職員の負担軽減を図るため、当面、評価のプロセスを基本事業と施策の評価は行わず、事務事業評価(1次・2次)→重点事務事業の選定→行政経営会議(次年度予算の重点化)に簡素化する。 専門業者への委託内容のうち、初心者向けの研修の講師は当課の担当職員が務めることとして、委託料を減額する。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	●																				
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>改革改善案が出されても、改革改善の実現には庁内調整や住民との合意形成など、様々な壁が予想される。部長層、課長層が中心となって改革改善案の実現に向けて取り組みを指示し、さらに全庁的、組織的にバックアップしていく必要がある。 評価結果の公表には、市民にも分かりやすい表現にするなど、記載内容の充実が必要である。</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	企画政策部企画調整課長	
-------	-------------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>・職員研修の充実により成果向上が期待できる。 ・今後、通常業務に加え、大震災からの復旧・復興業務に追われることを考慮し、評価手法の簡素化、専門業者への委託内容の見直し、さらに、研修会を通じた職員個々の評価能力の向上などにより、行政評価に係る人件費を含めた事業費の削減を図ることができる。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>職員研修(初心者、管理職、行政評価推進リーダー)の充実を図る。 行政評価手法の簡素化(事務事業評価のみの実施) 初心者向けの研修の講師は当課の担当職員が担当。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	●																				
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項